

外国語

1 教育課程研究協議会の経過（平成21年度～24年度）

平成21年度から24年度までの手引及び教育課程研究協議会の概要は次のとおりである。

	手引の概要	説明及び協議の概要
平成21年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 科目構成 2 改訂の基本方針 3 改訂の内容 4 質疑応答 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領における外国語科の目標 ・各科目の内容の構成と取扱い ・各科目に共通する内容等 ・指導計画作成に当たっての配慮事項
平成22年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 全般的事項 2 コミュニケーション英語基礎 3 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ 4 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ 5 英語会話 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領の改訂を踏まえた高校での指導 ・言語活動を行う際の配慮事項 ・各科目の履修に当たっての配慮事項 ・各科目の指導上の留意点
平成23年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育課程の編成 2 指導計画の作成と内容の取扱い 3 言語活動の充実を図る学習指導の実践例 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成における基本的な考え方や配慮事項 ・言語活動の充実を図った学習指導の実践例（イントロダクション、ペアワーク、スピーキングテスト、グループワーク）
平成24年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導の改善・充実 2 評価方法の改善・充実 3 学習評価の具体例 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の充実を図る視点 ・観点別学習状況の評価について ・評価規準の設定 ・単元の指導と評価の計画

2 指導と評価を円滑に行うための年間指導計画の作成

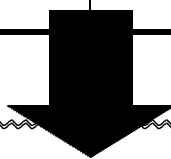
(1) 学年の学習到達目標を踏まえた年間指導計画（コミュニケーション英語Ⅰ）

年間指導計画の作成に当たっては、生徒の学習の状況や地域の実態等を踏まえ、卒業時までには生徒が身に付ける能力の全体像を描いた上で、それぞれの科目の特性に応じて、生徒に身に付けさせたい能力を明確にする必要がある。

次の表は、コミュニケーション英語Ⅰの年間指導計画の例である。

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ								
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。										
履修学年	○学年	学科・コース	○○○								
単位数	3単位	授業形態	一斉授業								
教科書	○○○	副教材	○○○								
学習到達目標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">話すこと</th> <th style="width: 25%;">書くこと</th> <th style="width: 25%;">聞くこと</th> <th style="width: 25%;">読むこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</td> <td>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。</td> <td>事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要をとらえたり、要点や詳細をとらえることができる。</td> <td>説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえたり、要点や詳細をとらえることができる。また、聞き手に伝わるように音読することができる。</td> </tr> </tbody> </table>			話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要をとらえたり、要点や詳細をとらえることができる。	説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえたり、要点や詳細をとらえることができる。また、聞き手に伝わるように音読することができる。
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと								
聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要をとらえたり、要点や詳細をとらえることができる。	説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえたり、要点や詳細をとらえることができる。また、聞き手に伝わるように音読することができる。								

月	課	単元名と目標	学習内容	単元の評価規準			評価方法 【評価規準】	
				コミュニケーション への関心・ 意欲・態度 【関・意・態】	外国語表現 の能力 【表現】	外国語理解 の能力 【理解】		言語や文化 についての 知識・理解 【知・理】
4	1	Quill, the Guide Dog ・グループでの発表活動に積極的に取り組む。 ・登場人物の気持ちや実際の発話を考えて書き表し、発表する。	各場面における登場人物の気持ちや実際の発話を考え、スキットに書き表してグループで発表する。	ペアでの質疑応答やグループでの発表に積極的に取り組んでいる。	物語の場面ごとに、登場人物の気持ちや実際の発話を考えて書き表し、発表することができる。			●活動観察 【関・意・態】 ●スキット発表 【表現】
	5	2			The Trip That Changed My Life ・読んだ内容に対する感想や考えを口頭で表現する。 ・まとまった量の説明文を聞いたり読んだりして、概要や要点を的確に理解する。	概要や要点を的確に理解し、生徒が自分の生き方に結び付け、筆者の思いが伝わるように気持ちを込めて音読するとともに、筆者の行動や生き方について考えを伝え合う。	感情を含めて音読するとともに、読んだ内容に対する感想や考えを口頭で表現できる。	まとまった量の説明文を聞いたり読んだりして、概要や要点を的確に理解することができる。
6	3	Letters to America ・ペアやグループワークで、自分の感想や意見とその理由を伝え合う。 ・感想や意見とその理由を述べたり話し合いを続けるのに必要な語句や表現を理解する。	日米の高校生活の違いについて理解するとともに、感想や意見などを述べる活動を通して、話し合いに必要な語句や表現を学習し、それらを活用して自分の考えを伝え合う。	学校生活に関する話題について、ペアやグループで自分の感想や意見とその理由を伝え合うことができる。		感想や意見とその理由を述べたり話し合いを続けるために必要な語句や表現を理解している。	●活動観察 【関・意・態】 ●ワークシート 【関・意・態】 ●意見発表 【表現】	
		前期中間考査					筆記テスト 【理解】【表現】 【知・理】	



年間指導計画においては、1単元で必ずしも4観点、4技能の全てについて評価することが求められているわけではなく、年間を通して各観点、各技能がバランスよく指導・評価されるよう、計画を立てることが大切です。

CAN-DOリストの作成 (【TOPIC】(p.62) 参照)

CAN-DOリストとは、評価の観点のうち、「外国語表現の能力」(話すこと、書くこと)及び「外国語理解の能力」(聞くこと、読むこと)について、4技能を用いて何ができるようになるかを「～することができる」という具体的な文章(能力記述文)によって表したものです。

外国語が使える日本人を育成するためには、学習指導要領に基づく授業を着実に実施するとともに、その成果を的確に把握することが不可欠です。また、指導と評価の一体化を通じて、学習指導の在り方を見直すことや個に応じた指導の充実を図ること、更には、学校における教育活動を組織として改善することが重要です。

(2) 単元の指導と評価の計画

ここでは、年間指導計画の中で学習到達目標の一つとして設定されている「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。」ことへの指導を通して、「話すこと」を重点的に評価する単元の例を示す。

ア 単元の指導計画(全7時間)

1 単元名 Letters to America			
2 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> 互いに協力しながら対話を継続させ、積極的に質問したり感想や意見を交換したりしている。 学校生活に関する話題について、ペアやグループで自分の感想や意見とその理由を伝え合う。 感想や意見とその理由を述べたり話し合いを続けたりするために必要な語句や表現を理解している。 			
3 単元の評価規準			
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
互いに協力しながら対話を継続させ、積極的に質問したり感想や意見を交換したりしている。	学校生活に関する話題について、ペアやグループで自分の感想や意見とその理由を伝え合うことができる。	(本単元では設定なし)	感想や意見とその理由を述べたり話し合いを続けたりするために必要な語句や表現を理解している。
4 単元の概要と言語活動			
本単元では、日本に留学しているアメリカ人高校生が、日米の高校生活の違いについて書いたEメールを扱っている。Eメールを読んで日米の高校生活の違いについて理解するとともに、感想や意見などを述べる活動を通して話し合いに必要な語句や表現を学習し、それらを活用して自分の考えを伝え合う力を養う。			
時間	ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
第1次 (4)	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感想や意見を述べる活動を通して話し合いに必要な語句や表現を理解する。 事物に関して紹介している対話を読んだり、聞いたりして、事実と意見を区別しながら概要を理解する。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話を続けるための表現(相づちを打つ、賛成するなど)について学習する。 日米の高校生活でどのような違いがあるかについて予想し、ペアで話し合う。 語句、慣用表現及び文構造について学習する。 感想や意見を述べるために必要な表現(great / not so good / What do you think? / I think ... because...など)を学習する。 本文の概要を読み取り、内容の理解度を確認するためペアによる活動(Q&A)を行う。 日米の違いを踏まえた上で、日米どちらの学校生活が好きか、その理由も含めて、ペアで意見交換する。(ワークシート活用) 	<p>【言語や文化についての知識・理解】</p> <p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>【外国語表現の能力】</p>	<p>言語の使用場面や働きを意識した文脈において知識を問う問題を用いて評価し、定着の度合いによってABCの判断を行う。</p> <p>↑</p> <p>筆記テスト(後日)</p> <p>↓</p> <p>活動の観察、ワークシート</p>
第2次 (3)	<p>【ねらい】 読んだことに基づき、自分の考えをまとめて相手に伝える力を養う。</p> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、文ではなく、キーワードでまとめておく。 日米の高校生活の違いを踏まえながら、海外で学校生活を送ってみたいかどうかについてグループで話し合い、気付いたことをメモする。 各グループから1名ずつメンバーを集め、新しいグループを編成し、話し合った内容について1人ずつ報告する。 	<p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>【外国語表現の能力】</p>	<p>ワークシートやメモ等も、活動での取組状況の判断材料として活用する。</p> <p>↑</p> <p>活動の観察、メモ</p> <p>↓</p> <p>活動の観察、ワークシート</p>

イ 観点別評価の進め方

ここでは、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の評価の観点を取り上げ、主として第4時に行う活動の観察と、ワークシートによる評価の進め方について、具体例を示す。

この観点においては、題材への興味を引き出す導入や発問の仕方などを工夫し、生徒のコミュニケーションへの関心・意欲・態度を育てる指導を行った上で評価を行い、その結果を次の指導につなげることが重要である。

評価の観点	評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワークにおいて、互いに協力しながら対話を継続させ、積極的に質問したり感想や意見を交換したりしている。
1 評価の方法 活動の観察及びワークシートの記入内容の確認（第4時） 2 評価の手順 (1) 教室内を巡回し、必要に応じて会話を続けるための表現を使うなどして、活動を続けているかを確認する。なお、ペアを変えるなどして、何度か繰り返し行わせる。 (2) 授業終了後に、ワークシート（感想や意見を話すためのキーワードをメモしたもの）を提出させ、記入内容を確認する。	指導する [会話を続けるための表現例] ・ 相づちを打つ Uh-huh. / OK. / Really? ・ 沈黙をうめる Um... / Well... ・ 賛成する That's right. / You're right. / I think so too. ・ 発言を促す How about you? / What do you think?
<p>○「おおむね満足できる」状況（B）の例</p> <p>S1 : Which do you like better, Japanese school life or American school life? S2 : I like American school life better because American students can eat lunch at the cafeteria. S1 : Uh-huh. S2 : How about you? S1 : Well, I like Japanese school life better because I think Japanese school festival is more fun. S2 : That's right.</p> <p>（評価についての考え方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S1、S2 ともに、学習した表現を使おうとしながら活動に取り組んでいた様子が認められるので、「B」と判断する。 ・ ワークシートにも必要な内容が記入されている。 <p>○「十分満足できる」状況（A）の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した表現を使おうとしながら、活動に積極的に取り組んでいる様子が見られる。特に、アイ・コンタクトをとったり、身振り手振りをうまく利用するなど、互いに協力しながらペアワークに取り組む姿勢が顕著に見られる。 ・ ワークシートの記入状況からも、活動への積極的な態度を見ることができる。 <p>○「努力を要する」状況（C）の生徒への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話の要点を理解させ、ワークシートに必要な内容を記入させ、ワークシートを見ながら会話が続けられるよう取り組ませる指導が考えられる。 <div data-bbox="837 1456 1420 1579" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><達成の状況と3段階の評価></p> <p style="margin: 0;">「十分に満足できる」状況と判断されるもの : A</p> <p style="margin: 0;">「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : B</p> <p style="margin: 0;">「努力を要する」状況と判断されるもの : C</p> </div>	

「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の観点の評価では、本事例の第1時から第7時における生徒の取組についても、プラスの評価をする判断材料として積極的に活用して総合的に判断し、「十分満足できる」状況（A）、「おおむね満足できる」状況（B）、「努力を要する」（C）状況の3段階で評価する。

また、この観点の評価の意義は、生徒がコミュニケーションへの関心・意欲・態度を身に付ける過程を教師が把握し指導に生かすことにあることから、生徒の活動の様子について単にA、B、Cの評価をするだけでなく、生徒の個々の取組状況の変容を把握し、生徒にフィードバックし、個に応じながらクラス全体の関心・意欲・態度を高めることが重要である。

3 観点別学習状況の評価の観点ごとの総括

(1) 単元における観点ごとの評価の総括の例

学習過程における評価情報を、観点ごとに総括する例を示す。この際、観点によって、特定の評価機会における結果に重み付けを行う方法も考えられる。

ある観点での評価結果のABCの数が多いものが、実現状況を最も良く表していると考えられるが、評価結果が同数の場合やABCの評価が混在する場合など、各学校の実態に応じて事前に総括の仕方を決定しておく必要がある。

単元での評価の総括(例)		コミュニケーションへの関心・意欲・態度				外国語表現の能力		外国語理解の能力		言語や文化についての知識・理解	
氏名	評価方法	ペアワーク	グループ活動	単元の取組状況	総括	クラス内発表	総括	(評価しない)	筆記テスト(後日実施)	総括	
〇〇 〇〇		B	A	A	A	A	A	(評価しない)	B	B	
△△ △△		A	B	B	B	B	B	(評価しない)	B	B	
□□ □□		B	A	A	A	B	B	(評価しない)	B	B	

(2) 学期末における観点ごとの評価の総括の例

単元ごとに総括した、観点ごとの評価結果を基に総括した例を示す。単元における評価の総括と同様に、各学校の実態に応じて事前に決定した総括の仕方に基づき行う。

学期末での評価の総括(例)	コミュニケーションへの関心・意欲・態度				外国語表現の能力				外国語理解の能力				言語や文化についての知識・理解			
	L1	L2	L3	学期末	L1	L2	L3	学期末	L1	L2	L3	学期末	L1	L2	L3	学期末
〇〇 〇〇	B	B	A	B	B	B	A	B		B		B	B	A	B	B
△△ △△	B	B	B	B	B	B	B	B		B		B	B	A	B	B
□□ □□	A	A	A	A	A	B	A	A		B		B	B	B	B	B

(3) 学年末における観点ごとの評価と評定の総括の例

学期末に総括した観点ごとの評価結果を基に評定に総括した例を示す。各観点の評価結果をABCの組合せから評定に総括する場合、生徒の学習の実現状況には幅があるため、機械的に評定を算出することは適当ではない場合もあるので留意する必要がある。

学年末での評価と評定の総括(例)	コミュニケーションへの関心・意欲・態度			外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての知識・理解			評定
	前期末	後期末	学年末	前期末	後期末	学年末	前期末	後期末	学年末	前期末	後期末	学年末	
〇〇 〇〇	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	3
△△ △△	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
□□ □□	A	A	A	A	A	A	B	A	A	B	B	B	

各学校では観点別学習状況の評価の総括の考え方や方法について共通理解を図り、生徒及び保護者に十分説明し理解を得ることが大切である。

評定	A、B、Cの組合せから評定へ総括する方法の例
5	AAAA
4	AAAB、AABB
3	ABBB、BBBB、BBBC
2	BBCC、BCCC
1	CCCC

Topic

CAN-DOリストの形での学習到達目標の設定について

各学校が、CAN-DOリストの形で学習到達目標を設定する目的は、外国語能力向上のために、生徒が身に付ける能力を明確化し、教員が生徒の指導と評価の改善に活用することです。また、教員と生徒が外国語学習の目標を共有することで、生徒自身にも、言語を用いて「～ができるようになりたい」といった自覚が芽生え、言語習得に必要な自律的学習者としての態度・姿勢が身に付くとともに、学習意欲のさらなる向上が期待されます。

【高校卒業時の学習到達目標】

英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。

外国語表現の能力

外国語理解の能力

卒業時	話すこと ・学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどをまとめ、発表したり、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりすることができる。</u> ・多様な考え方ができる話題について、 <u>立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合うことができる。</u>	書くこと ・主題を決め、 <u>様々な種類の文章を書くことができる。</u> ・ <u>文章の構成を考えながら書くことができる。</u> ・書いた内容を読み返して、推敲することができる。	聞くこと ・ <u>社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u>	読むこと ・ <u>社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などの速読や精読を通して、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u>
	卒業時の学習到達目標を見据え、生徒の発達段階に応じて、連続性のある段階的な目標を設定する。			
	話すこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。</u> ・説明や描写の表現を工夫して、 <u>相手に効果的に伝えるように話すことができる。</u> ・ <u>与えられた条件に合わせて、即興で話すことができる。</u>	書くこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。</u> ・論点や根拠などを明確にしながら書くことができる。 ・ <u>説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝えるように書くことができる。</u>	聞くこと ・ <u>事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。</u>	読むこと ・ <u>説明、評論、物語、随筆などを速読して、概要をとらえることができる。</u> ・ <u>説明、評論、物語、随筆などを精読して、要点や詳細をとらえることができる。</u> ・説明、評論、物語、随筆などを、 <u>聞き手に伝わるように音読したり暗唱したりすることができる。</u>
	話すこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、話し合った意見の交換をしたりすることができる。</u> ・ <u>与えられた話題について、即興で話すことができる。</u>	書くこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して書くことができる。</u>	聞くこと ・ <u>事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して聞くことができる。</u>	読むこと ・ <u>説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>説明や物語などを、聞き手に伝わるように音読することができる。</u>

2 年 終 了 時	話すこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。</u> ・説明や描写の表現を工夫して、 <u>相手に効果的に伝えるように話すことができる。</u> ・ <u>与えられた条件に合わせて、即興で話すことができる。</u>	書くこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。</u> ・論点や根拠などを明確にしながら書くことができる。 ・ <u>説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝えるように書くことができる。</u>	聞くこと ・ <u>事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。</u>	読むこと ・ <u>説明、評論、物語、随筆などを速読して、概要をとらえることができる。</u> ・ <u>説明、評論、物語、随筆などを精読して、要点や詳細をとらえることができる。</u> ・説明、評論、物語、随筆などを、 <u>聞き手に伝わるように音読したり暗唱したりすることができる。</u>
	話すこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、話し合った意見の交換をしたりすることができる。</u> ・ <u>与えられた話題について、即興で話すことができる。</u>	書くこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して書くことができる。</u>	聞くこと ・ <u>事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して聞くことができる。</u>	読むこと ・ <u>説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>説明や物語などを、聞き手に伝わるように音読することができる。</u>

1 年 終 了 時	話すこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、話し合った意見の交換をしたりすることができる。</u> ・ <u>与えられた話題について、即興で話すことができる。</u>	書くこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して書くことができる。</u>	聞くこと ・ <u>事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して聞くことができる。</u>	読むこと ・ <u>説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>説明や物語などを、聞き手に伝わるように音読することができる。</u>
	話すこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、話し合った意見の交換をしたりすることができる。</u> ・ <u>与えられた話題について、即興で話すことができる。</u>	書くこと ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 <u>情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して書くことができる。</u>	聞くこと ・ <u>事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>事実と意見などを区別して聞くことができる。</u>	読むこと ・ <u>説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえたり、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。</u> ・ <u>説明や物語などを、聞き手に伝わるように音読することができる。</u>

文部科学省のWebページに掲載されている「各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き」を参照すること。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2013/05/08/1332306_4.pdf)